

# あ い さ つ



教育長 佐藤秀美

令和5年度教育要覧「福島市の教育」の発刊にあたりまして、日頃から本市教育行政の推進に格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

本市では、「子育てと教育で選ばれるまちづくり」のため、教育については、学校教育の質向上と学びの環境の充実を図り、地域の将来を担う子供たちの健やかな成長と質の高い学びを支える取り組みを進めています。

この取り組みが評価され、本年7月、東北地方の自治体では初めて「日本子育て支援大賞 2023」の自治体部門を受賞いたしました。今後も関係部局との横軸を強化しながら、引き続き福島市の教育を推し進めてまいります。

本市教育委員会における令和5年度の重点プロジェクトでは、「福島型オンライン授業」として本市独自の支援を加えて全ての市立小中学校に、デジタル教科書を導入し学びを深めてまいります。また、学校図書館を電子化し、学校間・市立図書館と連携して、児童生徒が自分のタブレットから蔵書の検索ができるよう整備するなど、ICTを活用した教育の質の向上を図ります。

さらに、「福島型個性をのぼす教育」として、本市ゆかりの著名人や地元企業と連携して、スポーツや文化芸術など特色ある教育を行い、可能性に挑戦する子どもを育成してまいります。

「福島型給食の推進」では、令和2年から子育て支援施策の一環として、給食費負担軽減の取り組みを行ってきましたが、昨今の物価高騰を受け、保護者の皆様への経済的支援として、本年5月から学校給食の食材費高騰分について助成額の上乗せを行いました。今後も地産地消の推進に積極的に取り組みながら、栄養バランスのとれたおいしい学校給食の提供を目指してまいります。

また、学びの環境を充実するために、義務教育学校や県内初となる公立夜間中学の整備、さらに教育施設の改築やリフレッシュ、バリアフリー化などを加速化させ進めてまいります。

生涯学習につきましては、本年、学習センターのリニューアルやリノベーションを行いました。引き続き、市民一人一人が生涯にわたって生き生きと学べる学習機会の拡充と環境の整備を推進してまいります。

新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが変わりましたが、本概要の表紙写真のように、本市教育委員会ではコロナ禍で学んだことを活かしながら、単に従前に戻るのではなくポストコロナへのチャレンジに今後も取り組んでまいります。

令和5年8月

福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美